



はじめる前に

ミッドレンジの Cisco Secure Firewall 3100 は、進化する世界をサポートします。これにより、ハイブリッドな作業とゼロトラストが実用化され、高い投資回収率を確保する柔軟性が得られます。Cisco Secure Firewall 3100 は、脅威対策重視型セキュリティアプライアンスです。このアプライアンスは、脅威に対する優れた防御機能とビジネスの復元力を提供します。Advanced Threat 機能が有効になっている場合でも、ファイアウォールの複数のユースケースに対して優れたパフォーマンスを提供します。これらのパフォーマンス機能は、ファイアウォール、暗号化、および脅威検査機能を最適化する専用ハードウェアと組み合わせた最新の CPU アーキテクチャによって実現されています。Cisco Secure Firewall 3100 は、インターネットエッジからデータセンターおよびプライベートクラウドまで幅広いユースケースに対応します。Cisco Secure Firewall 3100 はマルチインスタンスとクラスタリングをサポートしており、組織の成長に伴うニーズに合わせて拡張できるパフォーマンスの向上を実現します。

専用の管理ネットワークで Cisco Secure Firewall Management Center を使用してファイアウォールを管理します。

- [ファイアウォールの電源の投入](#) (1 ページ)
- [インストールされているアプリケーション \(Firewall Threat Defense または ASA\) の確認](#) (3 ページ)
- [Firewall Threat Defense CLI へのアクセス](#) (4 ページ)
- [バージョンの確認と再イメージ化](#) (5 ページ)
- [ライセンスの取得](#) (6 ページ)
- [\(必要な場合\) ファイアウォールの電源オフ](#) (7 ページ)

ファイアウォールの電源の投入

システムの電源は、ファイアウォールの背面にあるロッカー電源スイッチによって制御されます。ロッカー電源スイッチは、ソフト通知を提供します。これにより、システムのグレースフルシャットダウンがサポートされ、システムソフトウェアおよびデータの破損のリスクが軽減されます。



- (注) ファイアウォールを初めて起動するときは、Firewall Threat Defense の初期化に約 15 ～ 30 分かかります。

始める前に

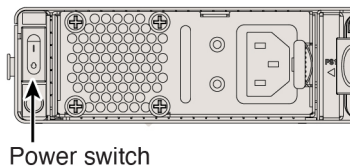
ファイアウォールに対して信頼性の高い電力を供給することが重要です（無停電電源装置（UPS）を使用するなど）。最初のシャットダウンを行わないで電力が失われると、重大なファイルシステムの損傷を引き起こす可能性があります。バックグラウンドでは常に多数のプロセスが実行されていて、電力が失われると、システムをグレースフルシャットダウンできません。

手順

ステップ 1 電源コードをファイアウォールに接続し、電源コンセントに接続します。

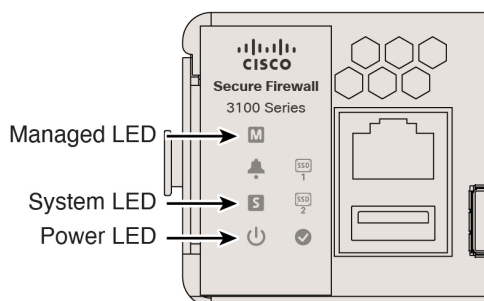
ステップ 2 シャーシの背面で、電源コードに隣接するロッカー電源スイッチを使用して電源をオンにします。

図 1: 電源スイッチ



ステップ 3 LED の現在のステータスを確認します。

図 2: LED



- 電源 LED：緑色で点灯している場合は、ファイアウォールの電源がオンになっていることを意味します。
- システム（S）LED：次の動作を参照してください。

表 1: システム（S）LED の動作

LED の動作	説明	デバイスの電源を入れた後の時間（分:秒）
緑色で高速点滅	起動中	01:00
オレンジ色で高速点滅（エラー状態）	起動に失敗しました	01:00
緑色で点灯	アプリケーションがロードされました	15:00 ~ 30:00
オレンジ色で点灯（エラー状態）	アプリケーションのロードに失敗しました	15:00 ~ 30:00

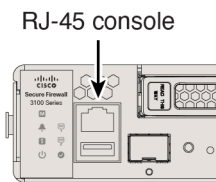
インストールされているアプリケーション（Firewall Threat Defense または ASA）の確認

Firewall Threat Defense と ASA の両方のアプリケーションが、ハードウェアでサポートされています。コンソールポートに接続し、出荷時にインストールされているアプリケーションを確認します。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 3: コンソールポート



ステップ 2 CLI プロンプトを参照して、ファイアウォールで Firewall Threat Defense または ASA が実行されているかどうかを確認します。

Firewall Threat Defense

Firepower ログイン (FXOS) プロンプトが表示されます。ログインして新しいパスワードを設定せずに、切断することができます。ログインを完了する必要がある場合は、[Firewall Threat Defense CLI へのアクセス \(4 ページ\)](#) を参照してください。

```
firepower login:
```

ASA

ASA プロンプトが表示されます。

```
ciscoasa>
```

ステップ 3 間違ったアプリケーションが実行されている場合は、[Cisco Secure Firewall ASA](#) および [Secure Firewall Threat Defense 再イメージ化ガイド](#) を参照してください。

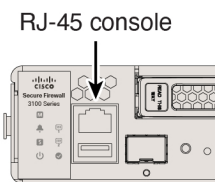
Firewall Threat Defense CLI へのアクセス

設定またはトラブルシューティングのために CLI にアクセスする必要がある場合があります。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 4: コンソールポート



ステップ 2 FXOS に接続します。ユーザー名 **admin** とパスワード（デフォルトは **Admin123**）を使用して CLI にログインします。初めてログインしたとき、パスワードを変更するよう求められます。

```
firepower login: admin
Password: Admin123
Successful login attempts for user 'admin' : 1

[...]

Hello admin. You must change your password.
Enter new password: *****
Confirm new password: *****
Your password was updated successfully.

[...]
```

```
firepower#
```

ステップ3 Firewall Threat Defense CLI に変更します。

(注)

初期セットアップに Firewall Device Manager を使用する場合は、Firewall Threat Defense CLI にアクセスしないでください（アクセスすると、CLI セットアップが開始されます）。

connect ftd

Firewall Threat Defense CLI に初めて接続すると、初期セットアップを完了するように求められます。

例：

```
firepower# connect ftd
>
```

Firewall Threat Defense CLI を終了するには、**exit** または **logout** コマンドを入力します。このコマンドにより、FXOS プロンプトに戻ります。

例：

```
> exit
firepower#
```

バージョンの確認と再イメージ化

ファイアウォールを設定する前に対象バージョンをインストールすることをお勧めします。別の方法として、稼働後にアップグレードを実行することもできますが、設定を保持するアップグレードでは、この手順を使用するよりも時間がかかる場合があります。

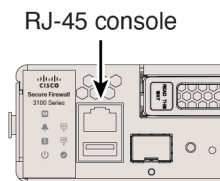
実行するバージョン

ソフトウェア ダウンロード ページのリリース番号の横にある、金色の星が付いている Gold Star リリースを実行することをお勧めします。<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/security/firewalls/bulletin-c25-743178.html> で説明されているリリース戦略を参照することもできます。

手順

ステップ1 コンソールポートに接続します。

図 5: コンソール ポート



ステップ 2 FXOS CLI で、実行中のバージョンを表示します。

scope ssa

show app-instance

例 :

```
Firepower# scope ssa
Firepower /ssa # show app-instance
```

Application Name	Slot	ID	Admin State	Operational State	Running Version	Startup Version	Cluster	Oper State
ftd	1		Enabled	Online	7.6.0.65	7.6.0.65	Not	Applicable

ステップ 3 新しいバージョンをインストールする場合は、次の手順を実行します。

- デフォルトでは、管理インターフェイスは DHCP を使用します。管理インターフェイスに静的 IP アドレスを設定する必要がある場合は、次のコマンドを入力します。

scope fabric-interconnect a

set out-of-band static ip ip netmask netmask gw gateway

commit-buffer

- FXOS の [トラブルシューティング ガイド](#) に記載されている [再イメージ化の手順](#) を実行します。

管理インターフェイスからアクセスできるサーバーから新しいイメージをダウンロードする必要があります。

ファイアウォールが再起動したら、FXOS CLI に再度接続します。

- FXOS CLI で、管理者パスワードを再度設定するように求められます。

ライセンスの取得

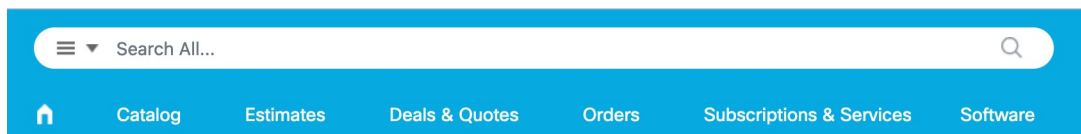
ライセンスは、シスコまたは販売代理店からデバイスを購入した際に、スマートソフトウェアライセンシング アカウントにリンクされています。 [Smart Software Manager](#) にアカウントがない場合は、リンクをクリックして [新しいアカウントを設定](#) します。

まだの場合は、Smart Software Manager に Firewall Management Center を登録します。登録を行うには、Smart Software Manager で登録トークンを生成する必要があります。詳細な手順については、[Cisco Secure Firewall Management Center アドミニストレーション ガイド](#)を参照してください。

Firewall Threat Defense には次のライセンスがあります。

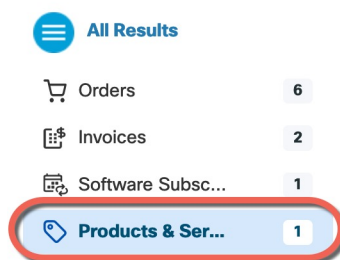
- Essentials : 必須
 - IPS
 - マルウェア防御
 - URL フィルタリング
 - Cisco Secure Client
 - キャリア (Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP)
1. 自身でライセンスを追加する必要がある場合は、[Cisco Commerce Workspace](#) で [すべて検索 (Search All)] フィールドを使用します。

図 6: ライセンス検索



2. ライセンス PID を検索します。必要な PID については、発注ガイドを参照してください。
3. 結果から、[製品とサービス (Products & Services)] を選択します。

図 7: 結果



(必要な場合) ファイアウォールの電源オフ

システムを適切にシャットダウンすることが重要です。単純に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを押したりすると、重大なファイルシステムの損傷を引き起こすことがあります。バックグラウンドでは常に多数のプロセスが実行されており、電源プラグを抜いたり、電源を切断したりすると、ファイアウォールシステムをグレースフルシャットダウンできません。

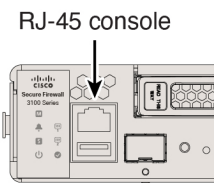
CLI におけるファイアウォールの電源の切断

FXOS CLI を使用すると、システムを安全にシャットダウンしてファイアウォールの電源を切断できます。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 8: コンソールポート



ステップ 2 FXOS CLI でローカル管理モードに接続します。

```
firepower # connect local-mgmt
```

ステップ 3 システムをシャットダウンします。

```
firepower(local-mgmt) # shutdown
```

例 :

```
firepower(local-mgmt)# shutdown
This command will shutdown the system. Continue?
Please enter 'YES' or 'NO': yes
INIT: Stopping Cisco Threat Defense.....ok
```

ステップ 4 ファイアウォールのシャットダウン時にシステムプロンプトをモニターします。シャットダウンが完了すると、次のプロンプトが表示されます。

```
System is stopped.
It is safe to power off now.
Do you want to reboot instead? [y/N]
```

ステップ 5 必要に応じて電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてシャーシから物理的に電源を取り外すことができます。

Firewall Management Center を使用したファイアウォールの電源切断

Firewall Management Center を使用してシステムを適切にシャットダウンします。

手順

ステップ1 ファイアウォールをシャットダウンします。

- a) **[デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)]** を選択します。
- b) 再起動するデバイスの横にある **[編集 (Edit)]** (🔗) をクリックします。
- c) **[デバイス (Device)]** タブをクリックします。
- d) **[システム (System)]** セクションで **[デバイスのシャットダウン (Shut Down Device)]** (🔌) をクリックします。
- e) プロンプトが表示されたら、デバイスのシャットダウンを確認します。

ステップ2 コンソールからファイアウォールに接続している場合は、ファイアウォールがシャットダウンするときにシステムプロンプトをモニターします。シャットダウンが完了すると、次のプロンプトが表示されます。

```
System is stopped.  
It is safe to power off now.
```

```
Do you want to reboot instead? [y/N]
```

コンソールから接続していない場合は、約3分間待つてシステムがシャットダウンしたことを確認します。

ステップ3 必要に応じて電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてシャーシから物理的に電源を取り外すことができます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。